

学科・学年	教科・科目名	単位数	使用教科書・副教材	担当者
普通科・音楽科 3学年	現代文	2	「現代文B」(第一学習社)	黒澤、深井

(学習目標)

- ・様々な文学作品に触れることで国語に親しみ文章を主体的に読む力を養う
- ・副教材を利用し、語彙力の向上を図る。

学期	月	学習内容・単元	時間数	学習の到達目標と評価の観点
1 学 期	4	①ワスレナグサ	12 時間	①②共通 語句・漢字の理解と習熟 論理的な文章に親しむ
	5	②食と想像力 ・中間考査		
	6	③記憶のゆがみ	10 時間	③ 語句・漢字の理解と習熟 小説を読解鑑賞する力を身につける
	7	④物語を発現する力 ・期末考査		
2 学 期	8	①鏡としての他者	12 時間	①②語句・漢字の理解と習熟 論理的な文章に親しむ
	9	②山椒魚 ・中間考査		
	10	①山月記	18 時間	① 語句・漢字の理解と習熟 小説の細部にまで気を配り注意深く読む ② 語句・漢字の理解と習熟 論理的な文章に親しむ
	11	②僕らの時代のメディアリテ ラシー		
12	・期末考査			
3 学 期	1	①経験の教えについて	18 時間	① 語句・漢字の理解と習熟
	2	・期末考査	年間 合計 70 時間	
	3			

(評価方法)

- ・実力考査・定期考査の点数に漢字テスト等の点数を加算した点数を基準とし、学習意欲・提出物等を参考に
する。
- ・学期の5分の1以上の欠課は評定を1段階以上下げる。
- ・特定の課題については、不達成の場合評定を「1」とする。
- ・特に達成度の低い者は評定を「1」とする。

(備考・注意事項)

学校番号	課程
37	全日制

R4シラバス (年間指導計画)

(別記様式2)

小諸	高等学校	全日制	課程	普通	学科	全校生徒数	479 (66)	人	学級数	15(3)	学級	保健体育科職員	5	人
----	------	-----	----	----	----	-------	----------	---	-----	-------	----	---------	---	---

◎学校教育目標

(民主的な社会の進展に貢献できる全人的な人間の育成を目指す。)
 社会的関係の中で自己実現を果たしていくために、それぞれの場面で自ら目的を設定し、その実現のために積極的に行動していく主体性を持った生徒の育成を図る。
 ①自分から目的を設定し、積極的に行動していく「主体性」
 ②社会の一員としての自覚と他者の立場を尊重しよりよい人間関係を形成する「社会力」

◎保健体育科目標

- ・自主自律の精神の育成 (ルールの遵守・他者への気づき・授業への取り組み)
- ・体力の向上 (日常生活・社会生活を送る上での基礎体力の向上・健康の保持増進)
- ・運動の楽しさに触れる (生涯スポーツ・趣味等の観点)

科目	学年	単位数	1学期																																			2学期																																			3学期																																		
			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																																																																							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35																																																																						
体育	1年次	2	男子	A体づくり+身体測定 (新体力テスト)			A (体づくり運動) ~ (新体力テスト) E球技 (ソフトボール)			水泳 (体育理論・卓球バド・バスケ)			D			クラ練習マツチ			F武道 レスリング応用 (バレーボール)			E球技 サッカー			H体育理論			E球技 バスケットボール																																																																															
		女子	A体づくり+身体測定 (新体力テスト)			A (体づくり運動) ~ (新体力テスト) E球技 (ソフトボール)			水泳 (体育理論・卓球バド・バスケ)			D			クラ練習マツチ			E球技 ソフトボール 硬式テニス			E球技 バドミントン						E球技・E球技 卓球・バスケットボール (1時間ごと交互に行う)																																																																																
	時間	100	2			18			10			14			3			14			18			6			15																																																																																
	2年次	2	男子	A体づくり運動+身体測定 (新体力テスト)			A (体づくり運動) ~ (新体力テスト) E球技 (ソフトボール)			水泳 (体育理論・卓球バド・バスケ)			D			クラ練習マツチ			E球技 バレーボール			E球技 サッカー			H体育理論			E球技 バスケットボール																																																																															
		女子	A体づくり運動+身体測定 (新体力テスト)			A (体づくり運動) ~ (新体力テスト) E球技 (ソフトボール)			水泳 (体育理論・卓球バド・バスケ)			D			クラ練習マツチ			E球技 ソフトボール 硬式テニス			E球技 バドミントン						E球技・E球技 卓球・バスケットボール (1時間ごと交互に行う)																																																																																
	時間	70	12			10			10			2			10			10			6			10			6			10																																																																													
	3年次	3	男子	A体づくり運動+身体測定 (新体力テスト)			選択① (新体力テスト) バレーボール テニス ソフトボール マレットゴルフ			水泳 (体育理論・卓球バド・バスケ)			D			クラ練習マツチ			選択② バスケットボール テニス バレーボール			E球技 サッカー			選択③ バスケットボール 卓球 フットサル																																																																																		
		女子	A体づくり運動+身体測定 (新体力テスト)			選択① (新体力テスト) バレーボール テニス ソフトボール マレットゴルフ			水泳 (体育理論・卓球バド・バスケ)			D			クラ練習マツチ			選択② バスケットボール テニス ソフトボール マレットゴルフ			E球技 バドミントン			選択③ バスケットボール 卓球 ソフトバレー フロアホッケー						バスケットボール 卓球 バドミントン																																																																													
	時間	105	20			16			16			3			16			18			16			18			16																																																																																
	スポーツ	3学年 2単位	集団行動	体づくり 運動	マット運動、ダンス、水泳、陸上											体育理論・礼儀、マナー研修 (面接指導)											フットサル、ソフトバレー、バドミントン																																																																																
	保健	1年次	1単位	オリエンテーション	筋肉系 骨格系	「現代社会と健康」 1健康の考え方と成り立ち~ 5がんの治療と回復				期末 テスト	「現代社会と健康」 6運動と健康~19健康に関する環境づくり											期末 テスト	「安全な社会生活」 1事故の現状と発生原因~6心肺蘇生法											期末 テスト																																																																									
		2年次	1単位	「現代社会と健康」 19交通事故の現状と要因~24日常的な応急手当				期末 テスト	「生涯を通じる健康」 6加齢と健康~ 11さまざまな保健活動 や対策				「社会生活と健康」 1大気汚染と健康~9健康的な職業生活											期末 テスト	レポート 学習ガイ ダンス	レポート学習・製本・発表・まとめ				期末 テスト																																																																													
体育的な学校行事等 日(期)を記入)		(期)		7/2 (土) 体育祭											9/7 (水)~9/8 (木) クラスマッチ (球技)																																																																																												

※3年生選択については、選択した人数により開講できない種目もある。

学科・学年		教科・科目名	単位数	使用教科書・副教材	担当者
普通科文系・ 3学年		コミュニケーション英語Ⅲ	4	MY WAY English Communication Ⅲ (三省堂)	池ノ上、 木村、山浦
(学習目標) 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。					
学期	月	学習内容・単元	時間数	学習の到達目標と評価の観点	
1 学 期	4	①Reading Skill 1 ②Reading Skill 2 ③Reading Skill 3 ④Reading Skill 5 ⑤Reading Skill 6 ・中間考査	6 X 4 時間	①～⑤に共通して、 1. 英文の多様な分野の話題を察知して文全体の話題を掴むことができる。 2. Slash Readingの考え方をマスターし左から右へ英語の論理で意味を捉え、英文読解の考え方を意識して英文を読むことができる。 3. 既習の文法事項に気づきながら英文を読み進めることができる。 4. 新出単語・新出表現を学び、それらを使って書いたり、話したりすることができる。	
	5				
	6				
	7	⑥Lesson 1 ⑦Lesson 2 ⑧Lesson 4 ・期末考査	5 X 4 時間	⑥～⑧に共通して、 上記1.～4. を踏まえ、 5. 文意や作者の意図を捉え、文章全体の論理の流れを掴むことができる。	
2 学 期	8	⑨Lesson 5 ⑩Lesson 6 ⑪Lesson 7 ・中間考査	7 X 4 時間	⑨～⑪に共通して、 上記、1.～5. の到達事項をより短時間で達成すると同時に、 6. 内容に対する質問に対して論拠となる文を的確に見つける練習を繰り返し、より正確に英文を読むことができる。 7. 内容に関する英語の質問に英語で答えることができる。	
	9				
	10	⑫Lesson 8 ⑬Lesson 9 ⑭Lesson 10 ・期末考査	8 X 4 時間	⑫～⑭に共通して、 1.～7. の到達事項を達成すると同時に、 8. 長い英文の論旨を捉え、より速く読むことができる。 9. 英文についての要約を英語で書くことができる。	
	11				
3 学 期	12				
	1	⑮Lesson 12 ⑯Lesson 13 ⑰Lesson 14 ・期末考査	9 X 4 時間	⑮～⑰に共通して、 1.～9. の到達事項を達成した上で、 10. 英語で書かれた長い文章を分析的に読むことができ、より高度な英文を正確に理解することができる。 11. 目標時間内に英文の内容を正確に捉え、必要な情報を抜き出すことができる。	
2					
	3		年間 合計 35 X 4 時間		
(評価方法) ・学習目標が十分達成できたか、定期考査点・小テスト・授業態度・提出物・欠課時数などを総合して評価する。					
(備考・注意事項) .					

学科・学年		教科・科目名	単位数	使用教科書・副教材	担当者
普通科理系、 音楽科・ 3学年		コミュニケーション英語Ⅲ	3	MY WAY English Communication Ⅲ (三省堂)	青木、木村
(学習目標) 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。					
学期	月	学習内容・単元	時間数	学習の到達目標と評価の観点	
1 学 期	4	①Reading Skill 1 ②Reading Skill 2 ③Reading Skill 3 ④Reading Skill 5, 6	6 X 3 時間	①～④に共通して、 1. 英文の多様な分野の話題を察知して文全体の話題を掴むことができる。 2. Slash Readingの考え方をマスターし左から右へ英語の論理で意味を捉え、英文読解の考え方を意識して英文を読むことができる。 3. 既習の文法事項に気づきながら英文を読み進めることができる。 4. 新出単語・新出表現を学び、それらを使って書いたり、話したりすることができる。	
	5	・中間考査			
	6				
	7	⑤Lesson 1 ⑥Lesson 2 ⑦Lesson 4 ・期末考査	5 X 3 時間	⑤～⑦に共通して、 上記1.～4. を踏まえ、 5. 文意や作者の意図を捉え、文章全体の論理の流れを掴むことができる。	
2 学 期	8	⑧Lesson 5 ⑨Lesson 6 ⑩Lesson 7 ・中間考査	7 X 3 時間	⑧～⑩に共通して、 上記、1.～5. の到達事項をより短時間で達成すると同時に、 6. 内容に対する質問に対して論拠となる文を的確に見つける練習を繰り返し、より正確に英文を読むことができる。 7. 内容に関する英語の質問に英語で答えることができる。	
	9				
	10	⑪Lesson 8 ⑫Lesson 9 ⑬Lesson 10 ・期末考査	8 X 3 時間	⑪～⑬に共通して、 1.～7. の到達事項を達成すると同時に、 8. 長い英文の論旨を捉え、より速く読むことができる。 9. 英文についての要約を英語で書くことができる。	
	11				
	12				
3 学 期	1	⑭Lesson 12 ⑮Lesson 13 ⑯Lesson 14 ・期末考査	9 X 3 時間	⑭～⑯に共通して、 1.～9. の到達事項を達成した上で、 10. 英語で書かれた長い文章を分析的に読むことができ、より高度な英文を正確に理解することができる。 11. 目標時間内に英文の内容を正確に捉え、必要な情報を抜き出すことができる。	
	2				
	3		年間 合計 35 X 3 時間		
(評価方法) ・学習目標が十分達成できたか、定期考査点・小テスト・授業態度・提出物・欠課時数などを総合して評価する。					
(備考・注意事項)					

学科・学年	教科・科目名	単位数	使用教科書・副教材	担当者
普通科・音楽科 ・3学年	英語表現Ⅱ	2	Vivid English ExpressionsⅡ (第一学習社)	池ノ上、 木村、山浦

(学習目標)

英文法を学び、書く、話す、聞く、読むと行った様々な活動を通してそれを身につけ、自分の考えを習得した英文法を使用して表すことができる。

学期	月	学習内容・単元	時間数	学習の到達目標と評価の観点
1 学 期	4	①Lesson 26 ②Lesson 27 ③Lesson 28	6 X 2 時間	①～③ 会話の中でよく使用される表現について、音読や暗誦をし、用法を理解した上で会話や作文の中で実際に使うことができる。
	5	・中間考査		
	6	④Lesson 29 ⑤Lesson 30 ⑥Lesson 31 ⑦Lesson 32	5 X 2 時間	④ 許可や命令で使われる表現の用法を理解し、学習した表現を会話や作文の中で使うことができる。 ⑤比較的長い文章で使用される表現について、表現の意味を理解し、実際の文の中で英文を組み立てて使用することができる。 ⑥未来を表す表現について復習し、使いこなせる。 ⑦推量や仮定の表現を復習し、基本的な文法問題が解ける。Ifやseemを使った様々な表現を学び、会話や英作文の中で使うことができる。
	7	・期末考査		
2 学 期	8	⑧Lesson 33 ⑨Lesson 34 ⑩Lesson 35	7 X 2 時間	⑧～⑫ 実際に英作文をしたり比較的長い文章を読んでいったりする中で、文の組み立て方や段落の構成の仕方を理解する。
	9	⑪Lesson 36 ⑫Lesson 37 ・中間考査		
	10	⑬Lesson 38 ⑭Lesson 39 ⑮Lesson 40 ⑯文法の整理 1～10	8 X 2 時間	⑬～⑮ スピーチ・ディベート・ディスカッションに必要な技能を学び、構成を工夫しながら聞き手に自身の考えを簡単な英語で伝えることができる。 ⑯ 今までに習った文法事項を復習し、音読や暗唱を通して文中での使い方を理解し、問題演習の中で活用することができる。
	11	・期末考査		
12				
3 学 期	1	⑰文法の整理 11～20 ・期末考査	9 X 2 時間	⑰教科書で習得した文法表現を使用して問題演習を行ったり、英作文等を通して自身で活用したりできる。
	2		年間 合計	
	3		35 X 2 時間	

(評価方法)

学習目標が十分達成できたか、定期考査点・小テスト・授業態度・提出物・欠課時数等を総合して評価する。

(備考・注意事項)

2年 社会と情報シラバス(普通科)

学年	教科・科目名	単位数	担当者			
2・3学年	社会と情報	2単位(70時間)	齋藤 広路			
教科書	日文116 社情307 見てわかる社会と情報					
学習目標						
1. 情報機器を適切に活用し、情報を収集、分析しながら問題を解決する力を身につける。 2. 情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において、他者への配慮や責任をもつ態度を育てる。 3. 情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。 4. コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解し、情報社会を支えるシステムに関心をもつ。						
年間授業計画						
学年	学期	月	学習内容	時間数	学習の到達目標と評価の観点	
2 年 次	1 学 期	4	オリエンテーション 1章 情報機器を使いこなそう 1. 情報機器の基本的な使い方 2. 情報機器を利用するときの注意点	8時間	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・コンピュータ教室でのマナーを理解する。 ・情報社会に関心を持ち、自らの方法活用能力を高める。 ・コンピュータを活用することで、仕事や生活がよりよくなることを理解する。 	
		5 ・ 6	2章 情報を整理して伝えよう 1. 問題の発見 2. 文書を作成してみよう		<ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で多くの情報が公開され、流通されていることを理解する。 ・情報や権利を保護することの必要性とそのための法律、個人の責任について理解する。 ・情報機器の特徴とはたらきについて理解する。 ・情報機器の基本操作方法について確認し理解する。 ・文書などを作成する際に配慮しなければならないことを理解する。 	
		7 10 11	2. データを分析してみよう		13時間	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の本質は何であるかを知り、問題を解決する手段と方法を理解しよう。 ・実際に自ら問題を発見し、さまざまな方法を分析して解決策を考える。 ・表計算ソフトへを活用した情報の分析の方法について学ぶ。 ・表計算ソフトを使ってグラフを作成する。 ・データを分析する手段や注意点について学ぶ。
3 年 次	3 学 期	12	3. 情報をわかりやすく伝えよう	14時間	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に情報を伝えるために発信の手順や方法について学ぶ。 ・プレゼンテーションソフトを活用した情報発信の方法について学ぶ。 ・プレゼンテーションの実施の流れについて学ぶ。 ・プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 	
		1・2				
	1 学 期	4	前年度つづき 3章 情報社会の課題について考えよう	8時間	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に情報を伝えるために情報デザインの方法について学ぶ。 ・プレゼンテーションソフト以外を活用した情報発信の方法について学ぶ。 ・プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 ・探究テーマの設定 ・発表に向けての準備 	
		6	1. 情報化が社会に及ぼす影響と課題 2. 情報セキュリティの確保			
		7 8	3. 情報社会における法と個人の責任 4章 情報社会のしくみを知ろう 1. 情報通信ネットワークとコミュニケーション		4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の特徴とメディアの意味、コミュニケーション手段の発達について理解する。 ・情報通信ネットワークの特性を理解し、効果的なコミュニケーションの方法につ ・情報のデジタル化の基礎的な知識について学ぶ。 ・デジタル化された情報は統合的に扱うことができることを理解する。
		9 10 11	2. 情報のデジタル化 3. 情報通信ネットワークのしくみ 4. 望ましい情報社会を築く		5時間 15時間	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みを理解する。 ・Webページや電子メールがどのようなしくみになっているのか理解する。 ・情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解しよう。 ・技術的な方法だけでなく、利用者の意識の向上が必要であることを理解する。 ・情報化が社会に及ぼす影響と課題について理解する。 ・望ましい情報社会のあり方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解し
3 学 期	12	4. 望ましい情報社会を築く	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの種類や特徴を知り、社会生活での役割と影響を理解しよう。 ・情報システムに関する意見を提案・集約し、情報社会の一員としての意識を高 		
			年間35 合計 70時間			
評価の方法						
1. 定期考査の点数 2. 作成課題、単元ごとの課題の提出状況 3. 授業・実習の態度・出欠席状況 4. 学期の1/5を超えた場合は、評定を「1」とする。						
留意事項・アドバイス・学習法・諸費用など						